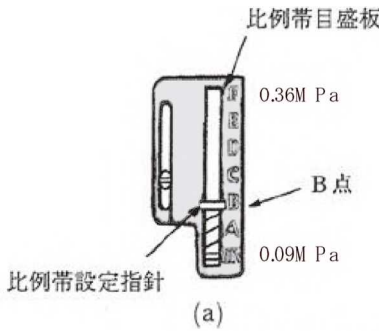
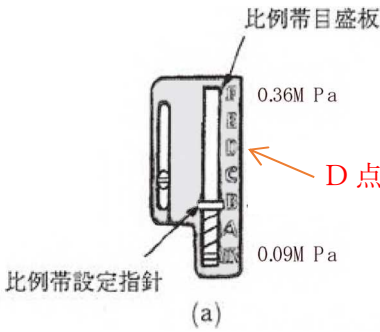


1級ボイラー技士試験公表問題解答解説 2022年版 正誤表

下記のとおり、誤植がありましたので謹んで訂正いたします。

頁	訂正箇所	誤	正
15	解説 と 図 1(a)	<p>比例帯は、図 1(a)における B 点に設定されている。比例帯の目盛範囲(F 点 = 0.36 MPa, MIN 点 = 0.09 MPa)を比例配分すると 1 目盛りは $0.045\text{MPa} \left[\frac{0.36-0.09}{6} \right]$ となる。</p> <p>したがって、B 点は $0.09 + (0.045 \times 4) = 0.27 \text{ MPa}$ となるので、(4) の設定圧力 0.65MPa から 0.92 MPa の間で比例制御が行われる。</p>  <p>(a)</p> <p>図 1 比例式蒸気圧力調節器</p>	<p>比例帯は、図 1(a)における D 点に設定されている。比例帯の目盛範囲(F 点 = 0.36 MPa, MIN 点 = 0.09 MPa)を比例配分すると 1 目盛りは $0.045\text{MPa} \left[\frac{0.36-0.09}{6} \right]$ となる。</p> <p>したがって、D 点は $0.09 + (0.045 \times 4) = 0.27 \text{ MPa}$ となるので、(3) の設定圧力 0.65MPa から 0.92 MPa の間で比例制御が行われる。</p>  <p>(a)</p> <p>図 1 比例式蒸気圧力調節器</p>
17	解説(3)	<p>自然循環式ボイラーでは、熱負荷を増すと上昇管内の気水混合体物の平均密度 (m) が小さくなり、循環力は増加する。</p>	<p>自然循環式ボイラーでは、熱負荷を増すと上昇管内の気水混合体物の平均密度 (ρm) が小さくなり、循環力は増加する。</p>
25	下から 2 行目	<p>[答] (5) ※解説文については[答](3)が誤りとなっているので正しい。</p>	<p>[答] (3)</p>
114	解説(1) 下から 2 行目	<p>問の (1) の記述は、酸化物イオン濃度ではなく酸素イオン濃度となっているため、誤りである。</p>	<p>問の (1) の記述は、水酸化物イオン濃度ではなく酸素イオン濃度となっているため、誤りである。</p>